

あさひ議会だより

おもな内容

一般会計は過去最大の予算に	2
ピックアップ！注目事業	4
主な議案の内容と質疑	6
市政を問う！一般質問	9
審議結果一覧	15



GW也大盛況！季楽里あさひ

須賀IZANAI連の皆さんもよさこい踊りで盛り上げてくれました。

見ていたら私も踊りたくなっちゃった！

一般会計は過去最大の予算に

前年度比 7.5%増  300億8千万円

一般会計			福祉や教育、道路整備など、市の基本的な事業を行うための会計	平成31年度予算 300億8,000万円	前年度予算 279億9,000万円		
特別会計			国民健康保険のように、保険料を徴収して特定の事業にあてている場合など、一般会計と区別する必要がある事業の会計	平成31年度予算	前年度予算		
				193億6,000万円	176億5,200万円		
			内訳	病院事業債管理		43億1,400万円	33億8,000万円
				国民健康保険事業	(事業勘定)	84億9,000万円	78億7,000万円
					(施設勘定)	9,100万円	8,500万円
				後期高齢者医療		6億2,900万円	6億3,600万円
				介護保険事業		52億600万円	50億3,500万円
				下水道事業		5億5,900万円	5億6,400万円
農業集落排水事業		7,100万円	8,200万円				
企業会計			民間企業のように、利用料金などの収益で運営している事業の会計(旭市は水道事業の1会計)	平成31年度予算 16億7,413万7千円	前年度予算 17億6,286万8千円		

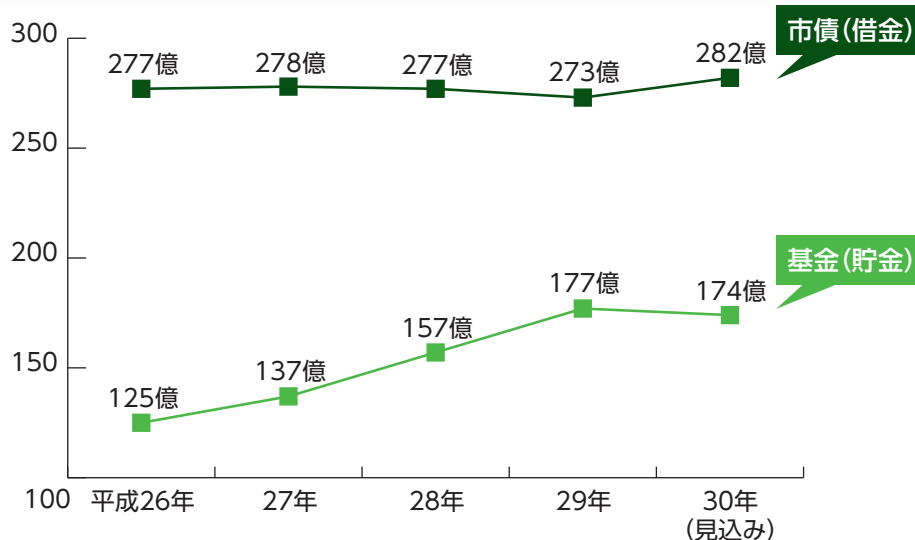
予算とは1年間の収入(歳入)、支出(歳出)の計画のことです。予算を見ればこの1年間、どのぐらいの収入が見込めて、何にいくら使うのかがわかります。旭市の会計には一般会計と6つの特別会計、1つの企業会計があります。

会計はお金の出し入れを行う財布のようなもので、それぞれの会計ごとに予算が組まれ、運営されています。

一般会計は前年度比7・5%増、特別会計は前年度比9・7%増、企業会計は前年度比5%減、予算総額は511億1,413万7千円で前年度比7・8%増となりました。

定例会に提出された当初予算は審議の結果、いずれも原案のとおり可決しました。

貯金と借金の状況は(一般会計)

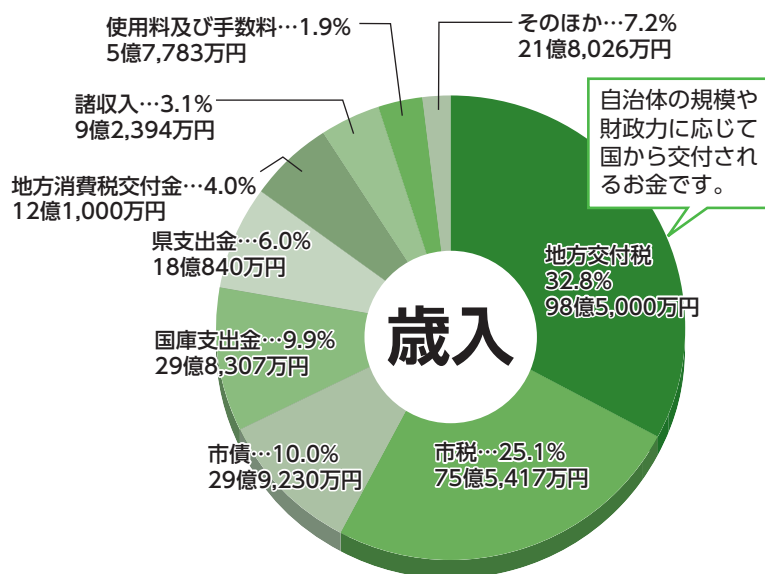


借入金である市債は、新庁舎建設や小・中学校施設改修などの事業により、平成30年度は増額する見込み。

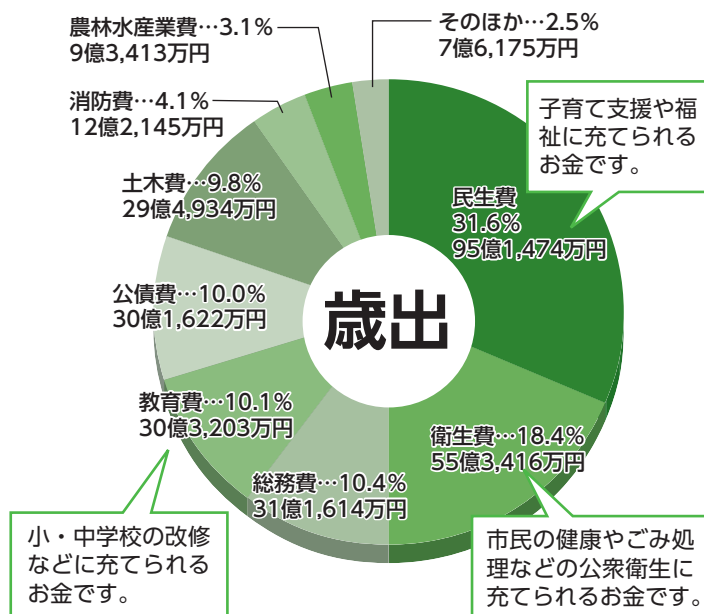
市の貯金である基金は、合併による地方交付税の特例、行財政改革による経費の削減、人件費の縮減などにより、増加しています。

※市債は道路や学校など、長期間使用するものに対して整備した年の負担を小さくし、世代間の負担の公平性も確保することができます。

一般会計予算の内訳

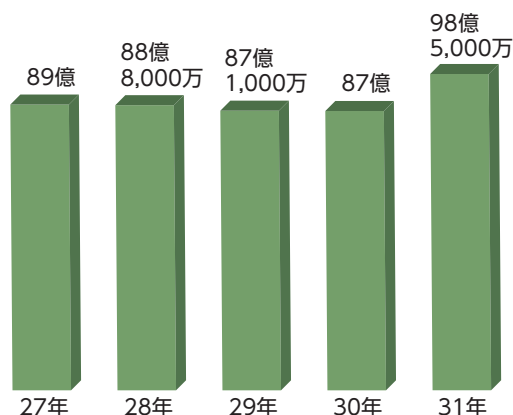


歳入面においては、市税をはじめとした自主財源に大幅な伸びは期待できず、普通交付税は、合併算定替の段階的縮減が平成31年度には70%となるなど、今後の歳入を取り巻く環境は厳しくなることが見込まれる。



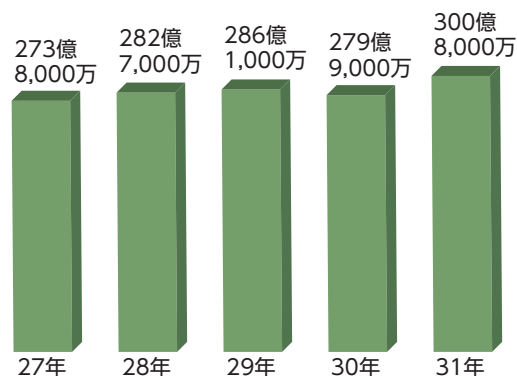
歳出面においては、高齢化等の進行による社会保障関係経費や、公共施設の老朽化等による維持・更新に係る経費が増加傾向にあり、さらには、新庁舎建設事業をはじめ、市政発展のために必要不可欠な大型事業の進捗により、財政需要の増加が見込まれる。

地方交付税の推移



合併算定替縮減により減少傾向でしたが、今年度は合併特例債の借入金償還額の増額による公債費算入分の増や、広域ごみ処理施設整備事業負担金に対する震災復興特別分の算入額を見込み、前年度比13.2%増。

一般会計予算の推移



今年度は東総広域ごみ処理施設整備事業や干潟公民館の移設など大型事業により前年度比7.5%増。



子育て支援に力を入れた予算編成

出産祝金支給事業(第2子以降からの支給)、子ども医療費助成事業(高校3年生まで)、乳幼児紙おむつ給付事業など、旭市独自の子育て支援事業を実施。

サッカー場整備

新規

3,743万円



旧飯岡中学校跡地を利用し、サッカー場を中心としたスポーツ施設を整備。

スポーツを通じて人々の交流を促進し、市の活性化を図る。

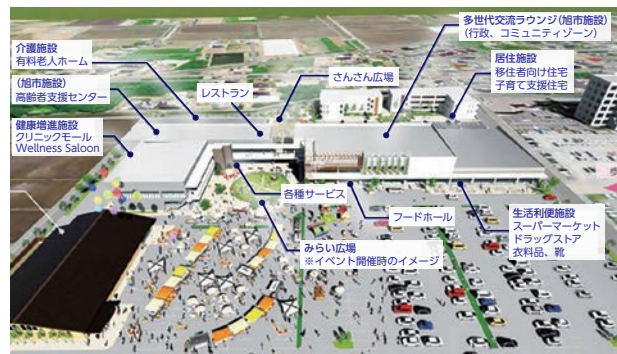
西側にはサッカー場、フットサルコート、管理棟などを計画、東側は利用者の駐車場を計画。

今年度はスポーツ施設基本設計業務委託の予算を計上。建築基本設計、測量業務、用地測量などを予定。

生涯活躍のまち構想

新規

910万円



イオンタウンが代表のグループが提案する「みらいあさひ」

人口減少と少子高齢化に歯止めをかけるため、旭中央病院から連携拠点である季楽里あさひを構想エリアとし、元気な高齢者を中心とする都市住民の誘致と、雇用創出による若年世代の流出抑制、流入促進を実現し、市全体の活性化を図る。

事業者はイオンタウン(株)が代表のグループに決定。

今年度は都市住民を対象としたマーケティング・ニーズ調査及び都内でのワークショップ・セミナーの実施などの予算を計上。

干潟公民館移転

新規

5億1,797万円



解体予定の現干潟公民館

干潟公民館の老朽化に伴い、干潟公民館の機能を干潟支所へ移転。

干潟支所を社会教育施設として、機能移転するための必要な改修と、長寿命化に向けた大規模改修を実施。

既存の干潟公民館については、今年度に解体設計業務、来年度に解体工事。解体後は駐車場として整備予定。

定住促進奨励金交付

拡充

3,280万円



九十九里浜に面し温暖な気候に恵まれた暮らしやすいまち

市の人口増加と定住化を図るため、移住を目的に新たに旭市へ転入し、新築住宅の建設・購入または中古住宅の購入をした人に、移住費用の一部として奨励金を交付。今年度は限度額を150万円に拡充。

〈交付金額〉

(基礎額) 30万円

(上乗せ) 夫婦どちらかが39歳以下…20万円

中学生以下の子どもがいる…10万円/人

新築住宅…20万円

市内業者で新築住宅を建設…10万円

PICK
UP!

平成31年度予算 注目事業

公立保育所英語教育

新規

92万円



舌を使ってネイティブな発音を練習する飯岡保育所児童

公立保育所において、英語講師により遊びを通じた英語教育を行い、児童の英語への興味や関心を高め、親子のコミュニケーションの一環となることを目的に実施。

公立保育所 12カ所。

各保育所 月1回、1時間程度実施予定。

教材用のCDや絵本なども使用。

防災資料館リニューアル

新規

812万円



平成26年7月に開館した旭市防災資料館

東日本大震災の記録を伝える防災資料館をリニューアル。

館内のレイアウトを全面的に見直し、展示する写真や資料パネル、上映する動画を作り直す。

関心を高めてもらうことで、震災の記憶の風化を防ぎ、次代に継承する取り組み。

市内小学校による防災教育の充実も図る。

新庁舎建設

4,605万円



令和3年春開庁予定の新庁舎イメージ図

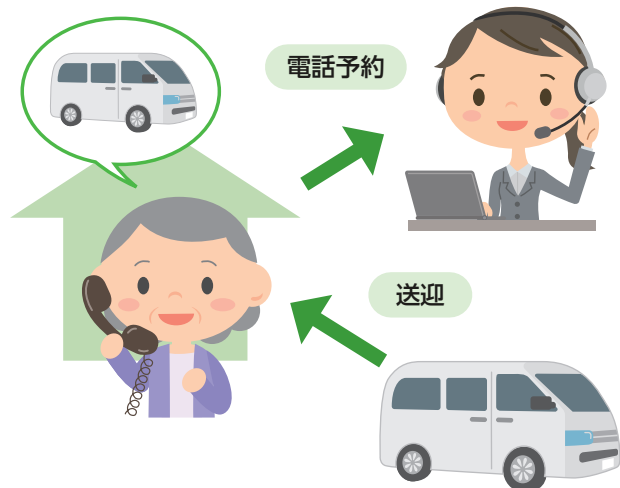
今年度は設計等委託料の年割額分や上水道工事、市民会議開催事務費等の予算を計上。

追加議案で出された工事請負契約の締結が可決され、建設建築工事を奥村・阿部特定建設工事共同企業体と35億9,640万円で、電気設備工事を橋本・鈴木特定建設工事共同企業体と5億5,242万円で、機械設備工事を三建・芝特定建設工事共同企業体と7億3,457万2,800円で契約。

デマンド交通運行

新規

665万円



市内各地に点在する交通空白地域を解消することで、バス停まで移動が困難な方の移動手段の確保や、市民の積極的な社会参加及び公共交通の充実を図る。

※デマンド交通とは

利用者が電話などで乗車を予約し、乗り場や行き先を希望できる。

合併による国の財政支援の終期を見据えて 総合戦略などに掲げる諸施策を着実に推進 本市の一体性の確立と均衡ある発展を目指す

第1回定例会のあらまし

平成31年第1回定例会が、2月27日から3月19日までの21日間の会期で開かれました。

この定例会には、平成31年度各会計予算、平成30年度各補正予算、条例の制定・一部改正など27議案が市長より提出され、いずれも原案のとおり可決されました。

3月6日・7日には一般質問が行われ、7名の議員が登壇し市政全般にわたる議論が展開されました。

また、最終日には市長から追加議案として、工事請負契約に関する議案が4議案提出され、いずれも原案のとおり可決されました。

主な議案の内容と質疑

当初予算

(平成31年度)

▼議案第1号

平成31年度旭市一般会計予算の議決について

問 新規就農総合支援事業について、個人の場合、年間150万円、夫婦の場合、年間225万円補助金が出るが、親元に就農しても対象になるのか。

(木内欽市議員)

答 親元に就農するだけでは対象にならず、違う作物で新たな経営戦略を立て、独立・自営就農することが必要。

問 企業誘致促進事業について、本市の工業団地には空きがないが、どこいうところに企業誘致をするのか。

(木内欽市議員)

答 県で空き公共施設に企業誘致しようというイベントがあり、そこに参加して、県内の

企業の方と話したり、情報を得ている。今のところ本市の空いている公共施設は、広域農道沿いの元農産物直売所だった場所



利用者募集中の元農産物直売所

の
一
か
所。

問 キャラクターデザイン作成業務委託料の具体的な内容は。

(片桐文夫議員)

答 あさひの缶バッジやぬいぐるみ、クリアファイルなどのグッズ作成。また、現在2

体ある着ぐるみを、もう1体追加で制作する。

問 自主防災組織補助金について、既存の団体は5団体とのことだが、これからそういった組織を作る場合、どのように作ればいいのか。

(片桐文夫議員)



答 自主防災組織は、市内の区、自治会、日常の生活圏を単位として組織された団体のうち、自主的に防災活動を行っている団体であるため、特に規約のようなものが必要なく、相談いただければ、総務課のほうでサポートさせていただきます。

問 保育士処遇改善事業補助金について、民間の保育所で働く保育士の賃金を、月2万円上乗せすることになったが、この事業規模はもっと拡大してもいいと思うが、本市の見解は。

(林晴道議員)

答 保育士の確保・定着対策を促進し、保育環境の改善を図るために開始したものであり、31年度は対象人数を155人と見込んだ。対象人数は年々増加しており、本来の目的である保育士の確保がしやすくなっている状況だと考え、今後も継続していく。

問 サッカー場整備事業について、事業規模や事業費、収支の見込みなどは、基本設計前だから回答できないとのことだが、大まかな事業計画がわからなければ、審議するのが難しいと考えるが、本市の見解は。

(林晴道議員)

答 飯岡地区のにぎわい復活のため、集客できるような施設が必要だという思いもあり、旧飯岡中学校跡地検討委員会でサッカー場が望ましいと報告を受けたことから、早速にでも設計を委託して、ある程度のレイアウトができたなら議会に説明していきたいと考えている。



サッカー場建設予定地

問 観光プロモーション支援事業委託料について、飯岡灯台をライトアップすることだが、これによる観光の入込客などの効果をどのように考えているか。

(高橋利彦議員)

答 昨年6月に「恋する灯台」に認定された飯岡灯台を、観光資源として更に活用するため、年末のスターライトファン

タジの頃に合わせ、灯台及び周辺のライトアップを計画している。効果を数字的に出すのは難しいが、なるべく多くの若い方々に来ていただきたい。



「恋する灯台」認定の飯岡灯台

問 公立保育所の英語教育事業について、市の単独事業とのことだが、2020年には小学校3年生から英語授業が始まるようになるが、保育所で英語教育をしても、1、2年生で途切れてしまつては効果が薄いのではないか。

(高橋利彦議員)

答 民間では英語教育を取り入れているところもあり、国の保育指針では、3歳以上の保育内容について、整合性を図るように示されているため、今回導入に至った。

就学未満児であるため、学校で教わるような英語ではなく、遊びや体験を通して、興味や関心を高めることを目的としている。

問 防災資料館改装事業について、阪神・淡路大震災の時も、多くの震災記念館が建ったが、今はほとんどなくなった。このような施設が、観光客に対して、危険な津波の発生する市として、負のイメージを植えつけてしまうこともありえるが、どう考えるか。

(高橋利彦議員)

答 事実は事実として捉えて、未来へ継承すべきであり、二度と悲劇を繰り返さないために、防災教育にしっかりと取り組むべきであると考えている。



防災資料館にある「刻忘れじの時計」

問 道路排水路等清掃委託について、具体的に何う。

(高木寛議員)

答 道路環境の保全を図るため、市内の幹線道路などの除草業務を行うものであり、春から秋にかけて繁茂する除草について対応する。

問 学校いきいきプラン事業について、具体的に何う。

(高木寛議員)

答 市内の小・中学校が主体性を発揮し、創意工夫を生かして教育の活性化を図り、特色ある学校づくりを推進するための事業。地びき網体験、著名人による講演会や音楽鑑賞、花いっぱい運動の推進など、バラエティに富んだ事業を実施。

▼議案第2号

平成31年度旭市病院事業債管理特別会計予算の議決について
問 病院事業債23億3,700万円について、これは看護師宿舍整備などのため借り入れるもので、当初議会への説明では18億円程度とのことだったが、直前になり、積算ミスで22億5,000万円になると報告があった。25%も違う数字で、市民感情としては到底理解できないも

のと感じるが、理解できる説明を求める。

(林晴道議員)

答 最初に積算した時は、容積率を出すための計算式で出してしまったため、廊下や共用面積分が入っておらず、金額が低くなっていた。昨年、中央病院の職員がお詫び申し上げたとおり、ご容赦いただきたい。

▼議案第8号

平成31年度旭市水道事業会計予算の議決について

問 昨年、水道料金が改正されて安くなったが、まだまだ他の市町村と比較すると、県内でも高いように感じるが、今後どのように考えているのか。

(高橋利彦議員)

答 現在進めている長期計画に基づき、3年後に改めて検討していくように考えている。

条例の制定・一部改正

▼議案第12号

旭市森林環境整備基金条例の制定について

問 森林環境譲与税が市へ譲与され、使途が森林環境整備

に資する事業と、定められているとのことだが、本市には森林そのものはないと思うが、何に使用するのか。

(伊藤保議員)

答 海岸の植林などの従前の事業は、財源充当の対象にならず、まだ明確にこういった方向というのは決まっていない。今後関係機関と調整を図り、有意義に活用できるよう考えている。

▼議案第23号

旭市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

昭和54年3月に設置された飯岡児童体育館は、老朽化のため、利用期間を平成30年度までとし、31年度以降に取り壊す予定。



取り壊し予定の飯岡児童体育館

討論

私はこう考える！

平成31年度一般会計予算について

反対

高木寛議員

新庁舎建設事業は、建設資材が高騰しているこの時期の建設ではなく、先延ばしをすべきであり、建物もコンパクト化すべきです。また旭中央病院アクセス道、三川蛇園線、南堀之内バイパスなどは、不要不急の事業なので、予算計上は反対です。財政調整基金を取り崩して、学校給食費の完全無料化や学校体育館へのエアコン設置、国保税軽減、水道料金引き下げなど、住民の生活と健康を守るための予算編成であるべきです。

高橋利彦議員

計画性のないサッカー場建設や全く費用対効果を考えない新庁舎の太陽光発電など、このような無駄なお金を使うなら、今の旭市を築き上げた高齢者の方々が喜んでもらえる施策を充実させるべきです。また、交付税は市が自由に使える真水分は減っており、基金は借金である臨時財政対策債の残額より少ない状況です。このような予算編成では、自主財源の確保が難しく、交付税に頼っている本市では、市民が要望する行政サービスができなくなってしまう。

賛成

米本弥一郎議員

定住促進のための奨励金交付事業や住宅リフォーム補助は、定住・移住を考える若い世代にとって魅力的な制度であり、出産祝金支給事業、子ども医療費助成など、子育て世代にとって安心して子育てができる施策もあります。さらに、各種住民健診や感染症予防への助成、コミュニティバスのルート再編やデマンド交通の導入など、市民の利便性向上を図るなど、各世代が生き生きと暮らせるための事業が盛り込まれています。

伊藤保議員

全国トップレベルを誇る農業産地としての特性を生かした施策により、さらなる産業振興の強化拡大が期待でき、また、公立保育所における3歳児以上の給食の主食部分の提供や、英語教育の導入などは、若い世代が安心して子育てできるものです。さらに、市民の安心・安全を図る面では、基幹道路から生活道路まで、きめ細やかな配慮がされており、市民の生活を第一に、各世代が安心して暮らせるまちづくりが期待できます。

市政を問う!

第1回定例会

一般質問

市政に関する一般質問は3月6日、7日の2日間行われ、7名の議員が登壇しました。
主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。



**同額落札は確率的に
ありえない**

問 市道58号、59号道路改良工
事について、最低制限価格
と同額で落札されたことだが、
確率的に偶然ということはいえ
ません。1件でもこのような事が
起これば、自治体は大慌てになる
と思うが、どう考えているのか。

答 平成30年度本市の工事入札
において、最低制限価格と同
額で落札された案件は、10月現
在で18件あった。昨今、国や県で
積算基準が公表されており、積算
の精度も非常に高くなっていると
考えている。それにより、落札価
格が最低制限価格付近に集中する
傾向がある。同時に、最低制限価
格を下回って、失格となっている
業者も数多くある状況。

日の出山公園にトイレ設置を

問 日の出山公園に常設のトイ
レがないことについて、理
由を伺う。



有田 恵子
議員

答 この公園は文化の杜公園の
一部を廃止して、その代替
となる都市公園として、加わった
ものであるが、当初は矢指地区の
津波避難施設として整備をしたた
め、トイレを設置しなかった。

問 平常は都市公園、災害時は
避難場所として、兼用して
いるとのことだが、この大事な2
つの機能を備えた公園であればこ
そ、絶対トイレは要るのでは。

答 公園を利用する方や地元の方から「トイレは必要だ」という声もあったため、今回の予算に計上し、31年度建設する予定。



トイレ設置予定の日の出山公園

その他の質問事項

○生涯活躍のまちあさひ事業につ
いて

○児童虐待等の相談について



高橋 利彦
議員

生涯活躍のまち農振除外は

問

事業主体の公募について、最終的には2者からの応募があり、プロポーザル審査の結果、イオンタウンが代表のグループに決定したとのことだが、今後この計画地は、農振法との関係で法的な要件があるが、許可の時期と流れについて尋ねる。

答

今は最優秀事業提案者という位置づけなので、最終的に市と協定の締結をしたら、事業計画に基づいて農振除外の申請がされる。8月を目途に進めているところ。



生涯活躍のまち計画地

なぜサッカー場をつくるのか

問

市外からの利用者をどのように見込んでいるか。また、海岸部は維持管理費が多くなると思うが、どのように考えているか。

答

市外からは高校生や大学生の、スポーツ合宿の利用が見込めると考えている。維持管理費はサッカー場の整備方法によって変わってくるので、基本設計業務の中で検討していきたい。

問

公共施設の統廃合が行われ、遊休用地の処分や施設の解体が行われている中、このような施設をつくるとのことだが、今までの答弁を聞いていても、何の計画も目標もない。なぜこんなに早急につくるようなことを考えたのか。

答

最大の目的は、東日本大震災からの復興ということ、インフラの面ではかなり復興が進んでいると思うが、一番大事な心の復興の部分で、飯岡海岸に、にぎわいを取り戻したいという思いがあり、人が集まれる場所として、サッカー場を考えている。

その他の質問事項

- 国保旭中央病院について
- 旭市の財政状況について

水道料金の引き下げを

問

本市の水道料金は、基本料金で20立方メートルまで4,536円であり、使用量の少ない高齢者世帯や単身世帯でも、この料金がかかります。近隣市と比べると高すぎるため、水道料金全体の引き下げとともに、基本料金の引き下げ、基本水量の見直しを要求する。

答

昨年10月に料金の引き下げを行い、今後の料金改定については、事業経営状況を判断する中、3年後に改めて検討する。基本料金、基本水量についても、その際に併せて検討したい。

学校給食費の完全無料化を

問

近隣自治体では、小・中学校の給食費無料化が増えている。無料化にするためには、財政への大きな影響が懸念されるとの回答があったが、完全無料化への英断を求める。

答

本市においては、第3子以降の給食費無料化を実施しているが、完全無料化を考えると平成31年度見込みの生徒・児童数4,804人分で、年間およそ2億3千万円を超える額が見込まれるため、財政への大きな影響が懸念される。本市の給食費は、近隣と比較しても低額なことから、引き続き、現状の内容で保護者の経済的負担の軽減を図っていく。

問

財政調整基金を取り崩して、ぜひ完全無料化という方向を示してほしい。

答

本市は他にも様々な手厚い補助制度は一度始めたら、なかなかやめられないという中で、慎重に財政や近隣市町村と、いろいろな面で精査、研究していきたい。

その他の質問事項

- 学校教室へのエアコン設置の進捗状況について
- 介護保険について





伊藤 保
議員

今後の空き家対策は

問 2033年には4軒に1軒が空き家になるとの報道があったが、現在把握している空き家件数は何件で、今後どういう取り組みをするのか伺う。

答 現在、詳細な調査を実施しており、まだ調査過程ではあるが、概ね1,000件弱の空き家があると思われる。この調査により空き家の状況を把握してから、地域の実情を踏まえた対策を計画的に推進していく予定。

問 ^{*}空き家バンク制度を利用している先進地もあるが、この利活用は検討しているか。

※空き家バンク
空き家の所有者と利用希望者を結びつける仕組み

答 調査の中で、どのくらいの空き家が、空き家バンクなどで活用できるのか、という実態がわかるところのため、今後、実際にやっているところの事例などを研究していきたい。

県立東部図書館の現況は

問 この図書館には専門書が多くあり、非常に便利で、市民にとっては知性を高めるため、身近にある施設だと思うが、この施設の建てられた経緯と概要、利用状況について伺う。

答 県立東部図書館は、地域における生涯学習の一層の推進を図るため、平成10年11月1日に開館した。収蔵能力は約50万冊で、開架冊数が約10万冊、閉架冊数が約40万冊。

平成29年度の利用実績で、入館者数15万3,985人、個人貸出冊数3万8,099冊、貸し出しを受けるための登録人数は9,305人。



県立東部図書館

その他の質問事項
○虐待について

通学路の冠水対策は最優先で

問 児童・生徒の通学路で、道路冠水の被害が悪化しているが、短時間に大量の雨が降り冠水した道路は、風雨による視界不良とともに、非常に危険となるため、学校周辺の通学路に対しては冠水対策工事の中でも最優先で対応を求める。

答 通学路の排水整備の優先順位は非常に高いものと考えている。地形的な問題など十分調査して、可能なところから整備を進めていく。

飯岡停車場線冠水の抜本的な解決を

問 議会もそうだが、本市は他者に責任転換をせず、自ら行うべきことがあり、何十年も被害に苦しまれている地元住民のため、抜本的な解決策を市長は描けているのか。それとも安心・安全を提唱しながら、当地域を見捨てるのか、見解を求める。

答 長年にわたって地元住民に大変な迷惑をかけており、解決しなければならぬ問題だと常々思っている。

問 この路線にある民間企業が、海まで排水管を自社所有しており、合併以前には旧海上町でその排水管の共同利用を依頼したが、断られ続けたようです。この企業が移転することに伴い、今一度、その排水管の活用に向けて、取り組んでみてはどうか。

答 排水管を埋設したのが、昭和48年頃と聞いているため、老朽化などの問題がある。いろいろ調査研究をして、解決に向けて努力していきたい。



集中豪雨により冠水した飯岡停車場線交差点

その他の質問事項
○公共事業の入札問題について
○基金の運用について

林 晴道
議員



伊藤 房代
議員

食物アレルギーを持つ 子どもたちの給食は

問 食物アレルギーを持っているため、給食ではなくお弁当を持参する子どもが多いようですが、アレルギーを持つ子どもは何人ぐらいいて、またその対応は。

答 保護者の申告によると、食物アレルギーのある児童・生徒の人数は171名。対応として、献立表とは別に献立食品調査表及び学校別日別個人別アレルギー一覧表を配布している。

問 皆と同じように給食を食べたいと思っている子どもたちが、食べられる給食をつくることはできないか。

答 アレルギー原因の食物が多様化してきており、現状では個別の除去食、代替食などの対応は行っていないが、引き続き調査研究を進めていく。



2,200食を作っている第二給食センター

体育館にエアコン設置を

問 小・中学校体育館にエアコンがあれば、災害時に夏でも安心して避難できると思うが、設置できないか。

答 防災計画での避難場所の指定したのではなく、各小・中学校とされている。災害時は一時的に体育館への避難になると思うが、暑さ、寒さの厳しい時期には、エアコンの設置されている教室の利用も考えられるため、現在のところ体育館へのエアコン設置は考えていない。

その他の質問事項

○小・中学校のトイレの洋式化について

通学路になる道路には 十分な安全対策を

問 合併前からの懸案事項であった、海上支所から広域農道までの約1・6キロの整備について、今回予算が計上され、整備後は海上中学校への通学路になると思うが、安全対策はどのようなか。

答 幹線道路や通学児童の多い道路については、歩道の整備の必要性を認識している。本地区においては、十分用地もあるため、歩行者及び自転車、安全に通学できるような整備を、併せて検討したいと思う。

問 歩道の幅は2メートル50センチと広く確保するとのことだが、自転車も一緒に通行できるようにしてはどうか。

答 車道の左側に色を塗り、自転車専用という形で路面標示する、自転車走行指導帯というものを作って対応したいと考えている。



木内 欽市
議員

新庁舎に高額な太陽光発電 を設置する理由は

問 新庁舎に設置する太陽光発電設備について、売電した場合に、1年間で20万円、20年間で400万円にしなければならないのに、なぜ1,900万円も投じて設置するのか。

答 災害時など緊急の場合、自分の自家発電電力を持たなければならぬと考えており、また、再生可能エネルギーは公共施設として準備するのは当然だという国の指導もあり、費用対効果の面では厳しいところもあるが、最小限の20キロワットを設置することにした。

その他の質問事項

○農業基盤整備事業について
○生涯活躍のまちについて



広域農道との交差点付近

常任委員会の審査

議案や請願・陳情を分野別に各委員会に振り分け、専門的に審査をします。
審査後は賛成・反対を決め、本会議で報告します。

建設経済常任委員会

3月12日(火) 午前10時～
10議案の審査

ケブカトラカミキリムシが原因で枯れた
脇鷹(そばたか)神社のイヌマキを視察



文教福祉常任委員会

3月13日(水) 午前10時～
12議案、請願1件、陳情2件の審査

審査の様子



総務常任委員会

3月14日(木) 午前10時～
7議案、陳情1件の審査

多古台開発地区を視察



議案第1号

平成31年度旭市一般会計予算の議決についてのうち、本委員会所管事項について

問

農村公園維持管理費について、農村公園は市内に何か所あるか。

答

条例等に基づいて指定している4か所と、類似する施設3か所を、農村公園として管理している。

問

急傾斜地崩壊対策事業について、市内で急傾斜地危険区域に指定されている箇所は何か所あり、千葉県が行う事業計画はあるか。

答

急傾斜地危険区域については、市内で8か所指定されている。現在、千葉県が事業主体として、海上地区見広で事業の準備を進めている。

審査結果

委員会付託の10議案について、議案第1号、第8号、第9号は賛成多数で、その他の議案は全員賛成で、それぞれ原案のとおり可決

議案第1号

平成31年度旭市一般会計予算の議決についてのうち、本委員会所管事項について

問

はり・きゅう・マッサージ等利用助成事業の具体的な内容は。

答

70歳以上の高齢者の利用者に利用券を交付し、施術者の申請により給付金を交付する。利用券は月2枚以内の使用とし、年間12枚以内としている。助成額は1枚につき1,000円分となっている。

問

緊急通報体制等整備事業について、地区別の設置状況は。

答

旭地区141台、海上地区32台、飯岡地区34台、干潟地区20台で合計227台。

審査結果

委員会付託の12議案について、全員賛成で原案のとおり可決、請願1件について、賛成少数で不採択、陳情2件について、陳情第1号は可否同数となり委員長裁決で不採択、陳情第3号は賛成者なしで不採択

議案第2号

平成31年度旭市病院事業債管理特別会計予算の議決について

問

中央病院の看護師宿舍の建設などに市債を充てることについて、病院の経営実態を把握した上で本当に借りる必要があるのか。

答

地方独立行政法人に移行している中央病院の施設整備、機械器具の購入に係る借入れについては交付税算入され、中央病院の経営上、利益になる部分がある。少しでも利益を得られて、収益上有利になるものであれば、今の収益の状況、決算の状況から返済していけることを踏まえ、新たに起債を利用して建てるということも手法としてある。

審査結果

委員会付託の7議案について、議案第2号は賛成多数で、その他の議案は全員賛成でそれぞれ原案のとおり可決、陳情1件について、全員賛成で採択

議案番号	件名	議決結果	1	2	3	4	6	7	8	9	10	11	12	13	15	16	17	18	19	20
			片桐文夫	平山清海	遠藤保明	林晴道	米本弥一郎	有田恵子	宮内保	高木寛	飯嶋正利	宮澤芳雄	伊藤保	島田和雄	伊藤房代	向後悦世	景山岩三郎	木内欽市	佐久間茂樹	高橋利彦
30	工事請負契約の締結について(旭市新庁舎建設機械設備工事)	可決	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○
31	工事請負契約の締結について(旭市総合体育館屋根・外壁改修工事)	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○
請 願																				
1	旭市の子どもの貧困対策の更なる充実を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	議	×	○	×	×
陳 情																				
1	「幼児教育・保育の『無償化』に係わる制度の拡充、及び、国の地方自治体への十分な財政措置を求める意見書」の提出を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	○	議	○	×	×	×
2	「会計年度任用職員制度の施行に伴う、国の地方自治体への十分な財政措置を求める意見書」の提出を要請する陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○
3	後期高齢者の窓口負担の原則1割負担の継続を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×
委 員 会 提 出 議 案																				
1	会計年度任用職員制度の施行に伴う、国の地方自治体への十分な財政措置を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○

東総ごみ処分場について緊急質問

3月7日の一般質問後、高木寛議員より、緊急質問の申し出があり、議会の同意を得て、行われました。以下、内容の一部を要約して掲載いたします。

問 銚子、旭、匝瑳3市で構成する東総地区広域市町村圏事務組合が建設中のごみ最終処分場計画地で、大量のごみが発見されたとの情報が寄せられたが、この処分場の建設については、期限が平成32年までの震災復興特別交付税を利用するというので、工期に影響が及ぶのではないかと心配で、今日緊急に質問させてもらった。担当課、市長にはこの情報は寄せられているのか。

答 区域内の樹木などを伐採していたところ、不法投棄のごみが発見されたということで、報告を受けている。ごみの種類は、農業用のビニール、瓦やコンクリートの欠片などが確認されているが、総量については把握しておらず、現在調査中。

工期への影響は多少なり出るものと想定されるが、期間に遅れないように、処理方法などについても検討しているところ。



建設中のごみ最終処分場

内閣総理大臣ほかへ意見書を提出

陳情第2号が本会議において採択されたことに伴う、意見書提出の発議第1号が可決されたため、内閣総理大臣ほか宛てに意見書を提出しました。

会計年度任用職員制度の施行に伴う、国の地方自治体への十分な財政措置を求める意見書

平成28年に実施した総務省調査によると、自治体で働く臨時・非常勤職員は全国で64万人とされ、いまや自治体職員の3人に1人が臨時・非常勤職員である。

職種は行政事務職のほか保育士、学童指導員、学校給食調理員、看護師、医療技術者、各種相談員、図書館職員、公民館職員、学校教育など多岐にわたり、その多くの職員が恒常的業務に就いており、地方行政の重要な担い手となっている。

こうした状況を受け、平成29年5月11日には地方公務員法及び地方自治法の一部改正法が成立し、新たに会計年度任用職員制度が導入されるなど、非常勤職員を法的に位置づけるとともに、職務給の原則に基づき、常勤職員との均等待遇が求められている。

来年4月の法施行に向けて、各自治体においては、任用実態の調査、把握のほか、関係条例・規則等の改正や待遇改善に伴う新たな予算の確保などが必要となっている。行政サービスの質と量の維持や、臨時・非常勤職員の待遇改善、雇用安定の観点から、次のことが措置されるよう強く要望する。

記

- 1.会計年度任用職員制度の施行に伴う、賃金労働条件の整備に必要な地方自治体の財源を確保すること。
- 2.「任期の定めのない常勤職員を中心とした公務運営」の原則を堅持するよう努めること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成31年3月19日

平成31年第1回定例会 審議結果一覧

○=賛成 ×=反対 欠=欠席 退=退席 議=議長 ※議長は採決に加わりません。

議案番号	件名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	15	16	17	18	19	20
			片桐 文夫	平山 清海	遠藤 保明	林 晴道	米本 弥一郎	有田 恵子	宮内 保	高木 寛	飯嶋 正利	宮澤 芳雄	伊藤 保	島田 和雄	伊藤 房代	向後 悦世	景山 岩三郎	木内 欽市	佐久間 茂樹	高橋 利彦	
市長提出議案																					
1	平成31年度旭市一般会計予算の議決について	可決	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	議	○	×	○	×	
2	平成31年度旭市病院事業債管理特別会計予算の議決について	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	×	
3	平成31年度旭市国民健康保険事業特別会計予算の議決について	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	
4	平成31年度旭市後期高齢者医療特別会計予算の議決について	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	
5	平成31年度旭市介護保険事業特別会計予算の議決について	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	
6	平成31年度旭市下水道事業特別会計予算の議決について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	
7	平成31年度旭市農業集落排水事業特別会計予算の議決について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	
8	平成31年度旭市水道事業会計予算の議決について	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	
9	平成30年度旭市一般会計補正予算の議決について	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	
10	平成30年度旭市介護保険事業特別会計補正予算の議決について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	
11	平成30年度旭市農業集落排水事業特別会計補正予算の議決について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	
12	旭市森林環境整備基金条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	
13	旭市企業誘致及び雇用の促進に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	
14	旭市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	
15	旭市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	
16	旭市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	
17	旭市児童遊園設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	
18	旭市ひとり親家庭等医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	
19	旭市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	
20	旭市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	
21	旭市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	
22	旭市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	
23	旭市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	
24	旭市水道の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	
25	市道路線の認定、廃止及び変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	
26	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	
27	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	
28	工事請負契約の締結について(旭市新庁舎建設建築工事)	可決	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	
29	工事請負契約の締結について(旭市新庁舎建設電気設備工事)	可決	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	

透明性を確保

政務活動費の実績を公開

Q. 政務活動費ってなに？

A. 市政に関する調査や研究を行うための調査費として、議員に交付するものです。

Q. いくら交付されるの？

A. 旭市では議員一人あたり月1万円、年間12万円交付しています。年度ごとに市へ実績報告をして、使わなかった金額は、市へ返還します。

※交付金額は条例で定められているため、市によって異なります

Q. どんなことに使われているの？

A. 旭市のホームページから、収支報告書および領収書の写しをご覧ください。(平成29年度分以降)

6月定例会の予定 (6月5日～6月24日)

日	月	火	水	木	金	土
6/2	3	4	5	6	7	8
			開会			
9	10	11	12	13	14	15
	議案質疑		一般質問			
16	17	18	19	20	21	22
	建設経済 常任委員会	文教福祉 常任委員会	総務 常任委員会			
23	24	25	26	27	28	29
	閉会					

いずれも10時から開催予定です。

日程は変更となる場合もありますので、ホームページ等でご確認ください。

本会議の様子は、インターネット中継でもご覧いただけます。

旭市議会は17名のまま活動

旭市議会の定数は20名ですが、現在3名の欠員が生じています。議員の欠員を補充するために行う補欠選挙は、公職選挙法第113条の規定により、議員定数の6分の1以上(本市の場合は4名以上)が欠員にならないと、行われません。

そのため、今の議員数17名のみで、次の市議会議員選挙まで活動していきます。



有田恵子議員が失職

有田恵子議員は、千葉県議会議員選挙に立候補したため、公職選挙法第90条により、3月29日付で失職しました。

編集後記

日頃議会だよりをご覧いただきありがとうございます。

新しい令和の時代が始まり1カ月がたちました。「令和」には「一人ひとりが明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができるような時代でありたい」との願いが込められているそうです。我々議会も、足元をしっかり見据え、市民一人ひとりが希望を持てるようなまちづくりに邁進していきます。

さて、今号では初の試みとなる予算特集ページを掲載しております。予算の内容、事業の概要が少しでも皆様に見やすく、わかりやすく伝わるよう心がけながら作成しました。これからは「読んでみたい」議会だよりとなるよう取り組んでいきますので、皆様からのご意見等もお待ちしております。

(委員・遠藤保明)

旭市議会だより編集委員会

委員長 米本弥一郎
委員 遠藤 保明
委員 平山 清海